

今日のポイント

- 決められた課題について作文を書く練習をする。
- 文章の組み立て方や語句の使い方、漢字の使い方に気をつける。

教科書



語句楽帳



朗読CD



解答と解説



7P

月 日

ヒント

① 課題の選び方

課題は、自分が書きたいものか、書きやすいものか、という二つの視点から選ぶようにしましょう。自分が日ごろ思っていること、具体的な事実や体験をもとにして書けるか考えます。

② 主題の決め方

主題は一つ、多くても二つまでにしましょう。関連性のない主題が多いと、内容がぼやけ、かえって言いたいことが相手に伝わりにくくなってしまいます。

③ 主題をわかりやすく伝えるための材料（自分が日ごろ思っていること、具体的な事実や体験など）を集めて整理しましょう。

ポイント1

作文の課題を選び、課題に沿って何を書くかを決めましょう。

課題

- ① 中学生生活で熱中したこと
- ② わたしの将来
- ③ 海外生活の中で得たもの
- ④ その他（自分に関すること）

(1) 右の□の中から、書きたいものを一つ選びましょう。④ その他（自分に関すること）を選んだ場合は、何について書くのかを具体的に書きましょう。

(2) (1)で選んだ課題について、最も伝えたい内容（主題）は何かを一文で書きましょう。

(3) 主題を伝えるための材料を集めて整理しましょう。

ヒント

① 作文の構成

作文は「序論」「本論」「結論」の三段構成で書くのが書きやすく、また一般的です。それぞれの割合は、およそ一対八対一くらいを目安にするとよいでしょう。

② わかりやすい文章を書くために作文では、内容や構成だけでなく、一文一文の書き方にも注意しましょう。

- ・一文が長くないように意識する。
- ・一文の中には一つのことだけを書く。
- ・考えを述べる場合は、必ずその根拠を明らかにし、あいまいな表現を用いずはつきりと書く。
- ・誤字脱字に注意し、これまでに学習した漢字を使って書く。
- ・原稿用紙の使い方に注意する。

ポイント2

課題と主題に沿って作文の構成を考えましょう。

作文全体を「序論」「本論」「結論」に分け、それぞれでどんなことを書くか、おおまかなメモを作ります。



本論で説明する内容を簡単に紹介します。具体的な出来事から始める場合もあれば、書き出しで主題をはつきり書く構成もあります。

体験やエピソードなど、具体的な内容を挙げながら、最後の「結論」にある意見や考えをもつようになった理由や根拠を説明します。

最も印象に残るような書き方で「主題」をまとめます。意見なのか感想なのかはつきりとわかるようにしましょう。

確認問題

同封の「表現」課題提出用紙に六〇〇字〜八〇〇字程度で作文を書き上げたら、誤字脱字がないかだけでなく、読む人にとってわかりやすい文章になっているか、内容が矛盾したものになっていないかも意識しながら読み返し、おかしい点があれば直しましょう。できあがったら財団に送ってください。



